

高次脳機能障害支援者養成研修 【実践編】

開催機関向け実践編研修指導要領

2023年3月
令和4年度 厚生労働科学研究
「高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究」

高次脳機能障害支援者養成研修 【実践編】

開催機関向け実践編研修指導要領

2023年3月

令和4年度 厚生労働科学研究

「高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究」

はじめに	1
【講義 01A・雛形】	障害特性に応じた支援・地域の支援体制.....	2
【講義 01B・前半】	障害特性に応じた支援.....	3
	認知症・発達障害との共通点と相違点	
【講義 01B・後半】	障害特性に応じた支援.....	4
	認知症・発達障害との共通点と相違点	
【講義 02A】	ライフステージに応じた支援.....	5
	小児期における支援	
【講義 02B】	ライフステージに応じた支援.....	6
	長期経過とフォローアップ	
【講義 03A】	多職種連携・地域連携.....	7
	チームアプローチの重要性	
【講義 03B】	多職種連携・地域連携.....	8
	家族支援・当事者家族会の活動	
【講義 03C】	多職種連携・地域連携.....	10
	コミュニケーション支援	
【講義 03D】	多職種連携・地域連携.....	13
	支援の実践的な枠組みと記録	
【講義 03E】	多職種連携・地域連携.....	14
	自動車運転再開支援	
【演習 01】	障害特性の理解と対応方法.....	15
【演習 02】	障害特性の理解とアセスメント.....	17

はじめに

この研修会テキストは2020~22年度の厚生労働科学研究「高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキスト開発のための研究」の研究班によって作成されました。当研究の目的は、高次脳機能障害の支援者に必要な知識を普及するため、全国で開催可能な、研修会の標準化を行うことです。

研修は、高次脳機能障害の支援の初心者である方を対象とした「基礎編」、経験者を対象とした「実践編」の2部構成で、それぞれにカリキュラム、シラバスを定め、テキスト作成はそれぞれ専門家が担当しました。

このテキストが活用され、支援者の育成がなされ、高次脳機能障害のある方が住み慣れた場所で地域の人々と共生する社会へと進むことを願っています。

2023年3月

研究代表者 深津玲子

国立障害者リハビリテーションセンター顧問

研究班（所属等は2023年3月31日現在）※順不同、敬称略、★テキスト基礎編執筆担当

研究分担者

- ★ 立石雅子 日本言語聴覚士協会 副会長
- ★ 青木美和子 札幌国際大学 教授
- 上田敬太 京都光華女子大学 教授
- ★ 渡邊修 東京慈恵会医科大学 教授
- ★ 鈴木匡子 東北大学 教授
- ★ 廣瀬綾奈 帝京平成大学 講師
- ★ 浦上裕子 国立障害者リハビリテーションセンター病院 第三診療部長
- ★ 今橋久美子 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 室長

研究協力者

- 片岡保憲 脳損傷友の会高知青い空 理事長
- 古謝由美 日本高次脳機能障害友の会 監事
- 守矢亜由美 東京都心身障害者福祉センター 地域支援課 高次脳機能障害者支援担当
- 西尾彰子 東京都心身障害者福祉センター 地域支援課 高次脳機能障害者支援担当
- 鈴木智敦 名古屋市総合リハビリテーションセンター 副センター長
- ★ 瀧澤学 神奈川県総合リハビリテーションセンター 総括主査
- 佐宗めぐみ 相談支援「楽翔」管理者
- ★ 小西川梨紗 滋賀県高次脳機能障害支援センター 臨床心理士
- コワリック優華 滋賀県高次脳機能障害支援センター 看護師
- ★ 稲葉 健太郎 名古屋市総合リハビリテーションセンター 自立支援部長
- 熊倉 良雄 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局
- 安部 恵理子 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 作業療法士
- 石森 伸吾 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 主任
- ★ 山舘 圭子 栃内第二病院 臨床心理士
- 小島 一郎 名古屋市総合リハビリテーションセンター 総合相談部長

【講義 01A】 障害特性に応じた支援・地域の支援体制 【雛形】

科目	テキスト	時間
障害特性に応じた支援・地域の支援体制	PowerPoint スライド/mp4 動画	40 分

研修のねらい
地域における高次脳機能障害の支援体制について理解する。
研修内容
【雛形】 地域の支援体制 支援拠点機関等が行う事業内容 社会資源（保健・医療・福祉・当事者団体等）の情報

番号	スライド	注意事項
	注意書き なし	

【講義 01B・前半】障害特性に応じた支援

認知症・発達障害との共通点と相違点

科目	テキスト	時間
認知症との共通点と相違点	PowerPoint スライド/mp4 動画	40 分

研修のねらい

認知症について、認知機能の特性を知り、高次脳機能障害と比較し理解する。

研修内容

認知症の種類・認知機能の低下・周辺症状について原因から理解し、対策を考えられるようにしていく。

番号	スライド	注意事項
		なし

【講義 01B・後半】 障害特性に応じた支援

認知症・発達障害との共通点と相違点

科目	テキスト	時間
発達障害との共通点と相違点	PowerPoint スライド/mp4 動画	40 分

研修のねらい

発達障害について、その症状特性を知り、高次脳機能障害と比較し理解する。

研修内容

発達障害の分類とその症状特性について原因から理解し、対策を考えられるようにしていく。

番号	スライド	注意事項
		なし

【講義 02A】 ライフステージに応じた支援

小児期における支援

科目	テキスト	時間
ライフステージに応じた支援	PowerPoint スライド/mp4 動画	40 分


研修のねらい

小児期発症の高次脳機能障害の特徴、症状と対応方法を理解する。子どもの社会復帰先である学校との連携や家族支援について理解する。

研修内容

小児期における支援

- ・ 小児高次脳機能障害の特徴
- ・ 症状と対応方法
- ・ 復学支援（学校との連携）
- ・ 家族支援

番号	スライド	注意事項
1	 The slide content shows the title '講義' (Lecture) at the top, followed by the main title 'ライフステージに応じた支援' (Support according to life stages) and the subtitle '小児期における支援' (Support in childhood). The subtitle is underlined in blue.	この講義では、小児期の高次脳機能障害の特徴、具体的な症状と対応方法、復学支援（教育との連携や支援のポイント）、家族支援について順に解説します。

【講義 02B】 ライフステージに応じた支援

長期経過とフォローアップ

科目	テキスト	時間
長期経過とフォローアップ	PowerPoint スライド/mp4 動画	40 分

研修のねらい

小児期・青年期・成年期・壮年期・高齢期それぞれのライフステージにおける高次脳機能障害の特徴と対応を理解する。受傷から医学的リハ・生活訓練・職業訓練を経て就労に至るまでの流れと、壮年期の機能低下や認知症へ移行した場合の支援について理解する。

研修内容

ライフサイクルをとおしてみた高次脳機能障害

- ・ 青年期の特徴
- ・ 就学から就労につなげる
- ・ 成年期の復職支援
- ・ 回復の基盤が緩やかな場合の支援の連続
- ・ 壮年期・高齢期の機能低下

認知症への移行

- ・ 受傷・発症から 10 年経過した事例の特徴と支援

番号	スライド	注意事項
		なし

【講義 03A】 多職種連携・地域連携

チームアプローチの重要性

科目	テキスト	時間
チームアプローチの重要性と 支援の原則	PowerPoint スライド/mp4 動画	40 分

研修のねらい

高次脳機能障害児者と家族が地域で生活を安心して送るために必要な域連携とチームアプローチの方法、支援を行うにあたっての気を付けたい点について理解する。

研修内容

高次脳機能障害児者支援における多職種連携・地域連携

- ・多職種による支援チームの意義
- ・支援チームを作るときに
- ・「家族との連携」と「家族支援」
- ・継続した地域連携
- ・地域における支援の仕組み

番号	スライド	注意事項
		なし

【講義 03B】多職種連携・地域連携

家族支援・当事者家族会の活動


科目	テキスト	時間
家族（きょうだい）支援・当事者家族会の活動	PowerPoint スライド/mp4 動画	40 分

研修のねらい

高次脳機能障害者家族支援の必要性と支援の視点を理解する。

研修内容

高次脳機能障害者家族の困難
感情反応と障害受容の理論
家族支援の視点
家族会の活動
きょうだいの問題
ケアラーとしての家族への支援

番号	スライド	注意事項
1	<p style="text-align: center;">講義</p> <p style="text-align: center;">多職種連携・地域連携</p> <p style="text-align: center;">家族（きょうだい）支援・当事者家族会の活動</p>	当事者家族の具体的な活動は、受講生、もしくは、講師の方のお住まいの地域の家族会の紹介と入れ替えていただいても構いません。
2	<p style="text-align: center;">従来の家族の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 性的機能あるいは生殖機能 ② 社会化機能あるいは教育的機能 ③ 経済機能 ④ 情緒安定機能 ⑤ 保護的機能 	このスライドは、時間がなければ、省略しても構いません。

21

ケアの内容 一般社団法人日本ケアラー協会HPより

経済的支援	家計を支えるための労働をしている
意思疎通支援	障がいのある家族のために通訳している
見守り支援	目の離せない家族の見守りや声掛けなど気遣いをしている
家事支援	家族の代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている
子育て支援	家族の代わりに幼いきょうだいの世話をしている
トラブル解決支援	アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対処している
治療支援	慢性疾患のある家族の看病をしている
デリケート支援	入浴やトイレの介助をしている
生活支援	身の回りの支援
きょうだい支援	障がいのあるきょうだいの世話や見守り支援

⇒子どもとしての育ちや教育の機会を失ってしまう

時間があれば、表にあるそれぞれの支援について触れていただければと思います。

【講義 03C】 多職種連携・地域連携 コミュニケーション支援

科目	テキスト	時間
コミュニケーション支援（地域生活・職場での支援）	PowerPoint スライド/mp4 動画	40 分


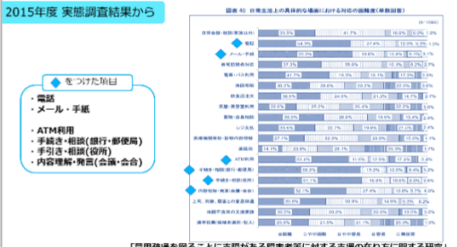
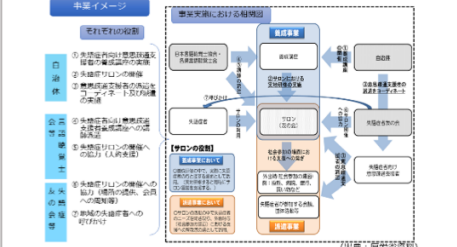
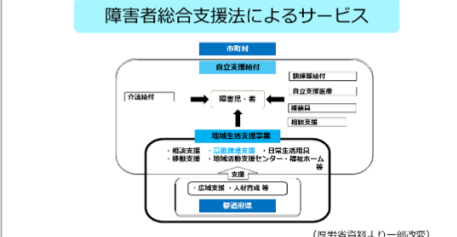
研修のねらい

失語症向け意思疎通支援事業について理解する。失語症以外の高次脳機能障害によるコミュニケーション障害の特徴と対応方法について理解する。

研修内容

失語症の場合の失語症患者向け意思疎通支援事業
失語症以外の高次脳機能障害によるコミュニケーション障害の特徴と対応
高次脳機能障害によるコミュニケーション障害の症例提示

番号	スライド	注意事項
2	<p style="text-align: center;">講義の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 失語症の場合 <ul style="list-style-type: none"> 失語症者向け意思疎通支援事業について 失語症以外の高次脳機能障害のコミュニケーション障害の場合 <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションにおいて問題となること 対応の方法 症例提示 <ul style="list-style-type: none"> 高次脳機能障害の例 	<p>全体の時間配分によっては、このスライドは提示するだけでもよいと思います。</p>
3	<p>1. 失語症 言語の回路</p> <p>The diagram illustrates the language circuit. At the top, '聴覚器官' (Auditory Organ) is connected to '音声言語' (Spoken Language). This leads to '聴理解' (Auditory Comprehension), which connects to '意味' (Meaning). From '意味', the path goes to '書取' (Reading) and '書字' (Writing), which connect to '文字言語' (Written Language). '文字言語' then connects to '書字器官' (Writing Organ), which leads to '発話' (Speech). '発話' connects to '音読' (Reading Aloud), which connects to '読解' (Reading Comprehension), which finally connects back to '聴覚器官'. A box at the bottom indicates that '意識、記憶、情動、知能、注意' (Consciousness, Memory, Emotion, Ability, Attention) underlies the entire process.</p>	<p>講義をする方は以下の説明を読み上げながら該当する部分をポインターで示してください。太字で示した部分になります。</p> <p>受講生は説明を聞きながら図のどこを見ていけばよいかがわかりますので、理解しやすいと思います。</p>

<p>7</p>	<p>2015年度 実態調査結果から</p> 	<p>必要に応じて、グラフをポイントしていただくとわかりやすいと思います。</p>
<p>8</p>	<p>2015年度 実態調査結果から</p> 	<p>グラフが細かいので、水色の四角の項目については太字の部分を読み上げながら、ポインターで示していただくとよいと思います。</p>
<p>9</p>	<p>失語症者向け意思疎通支援者養成カリキュラム(案)の目標 (2015年度)</p> <p>養成目標: 失語症者の日常生活や支援の在り方を理解し、1対1のコミュニケーションを行うための技術を身につける。さらに、日常生活上の外出に同行し意思疎通を支援するための最低限必要な知識及び技術を習得する。</p> <p>到達目標: 失語症者との1対1の会話を行えるようになり、買い物・役所での手続き等の日常生活上の外出場面において意思疎通の支援を行えるようになる。</p> <p>養成目標: 多様なニーズや場面に応じた意思疎通支援を行うために、応用的な知識とコミュニケーション技術を習得するとともに、併発の多い他の障害に関する知識や移動介助技術を身につける。</p> <p>到達目標: 電車・バスなどの公共交通機関の利用を伴う外出や複数の方への支援、個別訪問等の場面を想定し、失語症者の多様なニーズに応え、意思疎通の支援を行えるようになる。</p>	<p>講義される方 時間数の制約がある場合は、全部を読み上げる必要はなく、必修科目と選択科目の養成目標と到達目標はスライドに示す通りです。として先に進んでもかまいません。</p> <p>講師をされる方は時間の加減で、選択科目はスライドの通り、必修科目に比べ、範囲が広い応用という内容であることだけ述べるにとどめても良いと思います。</p>
<p>13</p>		<p>講義される方は太字部分を読み上げながら、図中の該当部分をポインターで示してください。</p>
<p>14</p>	<p>障害者総合支援法によるサービス</p> 	<p>講義される方は特に太字の部分を読み上げながら、図中の該当部分をポインターで示します。</p>

<p>18</p>	<p style="text-align: center;">意思疎通支援事業の実施状況</p> <p style="text-align: right;">(件) *</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>養成事業</th> <th>派遣事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018年度</td> <td>13</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>19</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2020年度</td> <td>26</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>2021年度</td> <td>42</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>2022年度(予定)</td> <td>42</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">* 単独の自治体の他、政令指定都市や中核都市との共催も含まれている。 (2022年3月日本言語聴覚士協会 士会対象アンケート調査結果から)</p>		養成事業	派遣事業	2018年度	13	-	2019年度	19	3	2020年度	26	7	2021年度	42	10	2022年度(予定)	42	22	<p>講義される方は、話しながら該当するスライドの部分をポインターで示してください。</p>
	養成事業	派遣事業																		
2018年度	13	-																		
2019年度	19	3																		
2020年度	26	7																		
2021年度	42	10																		
2022年度(予定)	42	22																		
<p>19</p>	<p style="text-align: center;">失語症のある人の 社会参加を促進するためにできること</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">失語症のある人それぞれの理解が地域、社会で支える支援の基礎である。</p> <div style="text-align: center;"> <p style="font-size: small;"> 支援 人と話す機会、 外出の増加 理解 失語症の理解、適切な 合併する障害の把握 家族の状況 求めている支援 </p> </div>	<p>講義される方は、話しながら該当するスライドの部分をポインターで示してください。</p>																		

【講義 03D】 多職種連携・地域連携 支援の実践的な枠組みと記録

科目	テキスト	時間
支援の実践的な枠組みと記録	PowerPoint スライド/mp4 動画	40 分

研修のねらい

- ・ 地域生活支援を展開するための諸計画の作成ポイントやつながりを理解する。
- ・ 記録を踏まえたフィードバックの意義を理解する。

研修内容

- ・ サービス等利用計画の作成ポイントと個別支援計画とのつながり
- ・ 個別支援計画の意義と手順書のつながり
- ・ 記録とフィードバックの意義
- ・ 地域の相談支援体制の活用

番号	スライド	注意事項
29		実施する地域の、学校等との連携事例があれば、紹介するとよい。

【講義 03E】 多職種連携・地域連携 自動車運転再開支援

科目	テキスト	時間
自動車運転再開支援 評価・手続き	PowerPoint スライド/mp4 動画	40 分

研修のねらい

高次脳機能障害者の自動車運転支援に関連する法制度、運転評価、課題や留意事項などを理解する。

研修内容

運転免許制度

自動車の運転評価で確認する事項

自動車運転で生じる課題、留意事項など

自動車と運転補助装置の選択

自動車に関する税と助成制度など

各学会の自動車運転に関する適応や指導指針

番号	スライド	注意事項
		なし

【演習 01】 障害特性の理解と対応方法

科目	テキスト	時間
1. 障害特性の理解と対応方法 2. 障害特性とアセスメント（1）	PowerPoint スライド/mp4 動画	180 分

研修のねらい
1. 高次脳機能障害者の心理と対応法を理解する。 2. 障害特性に基づくアセスメントを理解する。
研修内容
1. グループワーク：事例によるロールプレイ 2. グループワーク：事例検討

番号	スライド	注意事項
16	<p>振り返りシート2</p> <p>ロールプレイを通して考える</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Aさんはどのような思いを抱えていると思いますか？ 2. Aさんはどのようなことに困っていると思いますか？ 3. Aさんの希望は何だと思いますか？ 4. Aさんの母親はどのような思いを抱えていると思いますか？ 5. Aさんの母親の希望は何だと思いますか？ 	ブレイクアウトルームに移動してください。90分後、全体に移動してください
19	<p>個人 10分 グループ15分</p>	10分後にブレイクアウトルームに移動してください。15分後、再び全体に移動してください

23	個人 10分 グループ15分	10分後にブレイクアウトルームに移動してください。15分後、再び全体に移動してください
-----------	----------------	---

【演習 02】 障害特性の理解とアセスメント

科目	テキスト	時間
1. 環境調整の考え方と方法 2. 記録の収集と分析	PowerPoint スライド/mp4 動画	180 分

研修のねらい

1. 支援内容の組み立てに際し、本人を取り巻く環境の調整により課題解決を図る方法を学ぶ。
2. 支援記録を踏まえた本人へのフィードバックのあり方について理解する。

研修内容

1. モデル事例による
 - ・再アセスメントの視点
 - ・再プラン
 に関する演習を行う。
2. モデル事例による
 - ・支援記録を踏まえた本人へのフィードバックの必要性の確認
 - ・留意点の理解
 に関する演習を行う。

番号	スライド	注意事項
1	<p style="text-align: center;">演習</p> <p style="text-align: center;">環境調整による支援と 記録に基づく支援の評価</p>	「演習の内容」に入る前か「演習のねらい」の説明の後に、グループの自己紹介等を行う。

<p>6</p>	<p style="text-align: center;">2. 事例の紹介</p>	<p>ナレーション例</p> <p>まず、スライド 7-11 について、各自で目を通して見て下さい。</p> <hr/> <p>読み込み 10 分、説明 10 分設定</p> <hr/> <p>説明 10 分の中で、スライド 7-11 について、ポイントを確認していく。</p>																								
<p>7</p>	<p>TRさん (30代女性・精神障害手帳2級・障害基礎年金2級)</p> <p><生活歴></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学在学中 (19歳) のとき、脳炎により意識不明となった。 ・意識回復後も寝たきり状態が続き、高次脳機能障害の診断も受けた。 ・リハビリにより独歩が可能となり一旦退院したが、将来の生活を考えて、施設入所による自立訓練事業を利用した (21歳)。 ・就労移行支援事業を利用し、トライアル雇用を経て、介護施設でパート勤務することとなった (22歳)。 ・親元から離れた自立した生活を本人が希望し、ヘルパー利用をして、マンションで一人暮らしを始めた (31歳)。 ・1ヶ月ほどで訪問するヘルパーへの好き嫌いを口にするようになり、ケア中に可立った様子を見せることも目立ってきた。 	<p>要確認ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19歳のときに脳炎を患った影響で、高次脳機能障害となっている。 ・退院後、施設入所し自立訓練を利用した。 ・その後、就労移行支援事業も利用し、22歳で介護施設にパート勤務できるようになった。 ・その後9年、自宅から通勤していたが、本人の希望でヘルパー利用して一人暮らしを始めたが、1ヶ月ほどで、ヘルパー事業所が対応に苦慮し始めた。 																								
<p>8</p>	<p style="text-align: center;">本人・家族の希望</p> <p><本人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人でも生活できるようになりたい。 ・新しいことはすぐに覚えられないので、自分のペースで取り組んでいきたい。 ・両親以外にも相談できる相手を見つきたい。 ・自分の障害のことを理解して欲しい。 <p><家族 (両親)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが元気なうちに、一人暮らしができるようになって欲しい。 ・家族以外に相談できる相手を見つけて欲しい。 ・本人の障害やペースに合わせて支援をして欲しい。 	<p>要確認のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人と両親の希望は一致している。 ・特に、両親以外に信頼できる支援者ができることがゴール。障害特性の理解がその大きなポイントの様子。 																								
<p>9</p>	<p>情報①</p> <p><家族></p> <p><日課></p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>月</td> <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> <td>土</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>AM</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PM</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Timeline: 7 起床・朝食, 8 出勤, 9 ↑ パート勤務, 12 ↓ 退勤, 17 夕食, 19 入浴, 22 就寝</p> <p>Part-time work: AM (Monday-Friday), PM (Saturday-Sunday)</p>		月	火	水	木	金	土	日	AM								PM								<p>要確認のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パート勤務を中心とした生活リズムは整っている。 ・両親を頼りがち。
	月	火	水	木	金	土	日																			
AM																										
PM																										

<p>10</p>	<p>情報②</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>主な情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活基礎</td> <td>収入：基礎年金2級+パート給与（11万円ほど）</td> </tr> <tr> <td>健康・身体</td> <td>服薬後は包装をとっておき、要日捨てる。</td> </tr> <tr> <td>日常生活</td> <td>ADLは自立</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション</td> <td>他者の意思理解が難しいことがある。</td> </tr> <tr> <td>社会生活</td> <td>屋外移動：慣れない場所への移動や移動先での行動に不安 金銭管理：通帳管理やATM使用に支障が必要。</td> </tr> <tr> <td>余暇・趣味</td> <td>交友関係はほとんどない。スマホで音楽を聴く。</td> </tr> <tr> <td>教育・就労</td> <td></td> </tr> <tr> <td>家族関係</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害特性</td> <td>記憶力低下（繰り返しにより改善が期待できる） 情報処理速度低下</td> </tr> </tbody> </table>	領域	主な情報	生活基礎	収入：基礎年金2級+パート給与（11万円ほど）	健康・身体	服薬後は包装をとっておき、要日捨てる。	日常生活	ADLは自立	コミュニケーション	他者の意思理解が難しいことがある。	社会生活	屋外移動：慣れない場所への移動や移動先での行動に不安 金銭管理：通帳管理やATM使用に支障が必要。	余暇・趣味	交友関係はほとんどない。スマホで音楽を聴く。	教育・就労		家族関係		障害特性	記憶力低下（繰り返しにより改善が期待できる） 情報処理速度低下	<p>要確認のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入は月 17 万円ほどあり、ADL も自立しているが、コミュニケーションや慣れない場所への移動、金銭管理に課題が見られる。また、交友関係はほとんどない。 ・障害特性
領域	主な情報																					
生活基礎	収入：基礎年金2級+パート給与（11万円ほど）																					
健康・身体	服薬後は包装をとっておき、要日捨てる。																					
日常生活	ADLは自立																					
コミュニケーション	他者の意思理解が難しいことがある。																					
社会生活	屋外移動：慣れない場所への移動や移動先での行動に不安 金銭管理：通帳管理やATM使用に支障が必要。																					
余暇・趣味	交友関係はほとんどない。スマホで音楽を聴く。																					
教育・就労																						
家族関係																						
障害特性	記憶力低下（繰り返しにより改善が期待できる） 情報処理速度低下																					
<p>11</p>	<p>情報③</p> <p><ヘルパー事業所（サービス提供責任者）からの情報></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー3名で対応している。 ・ケア開始時のサービス担当者会議で役割分担したことに沿って、家事援助（調理、洗濯、掃除の部分支援）と移動支援（買物）を提供している。 ・本人の様子やケア内容は、ヘルパー間でノートを介して共有している。 ・ケアを開始して1ヶ月ほどで、ヘルパーを特定の1名に固定して欲しいという要望をいただいたが、他のケアの関係もあり、困っている。 ・また、ケア中に険しい表情で、気になることを繰り返し言い続けることがあり、ヘルパーはどう対応してよいか分からず、困っている。 ・嫌な思いをしたり、苛立つと、母親にLINEするよううで、母親からも問い合わせを受ける。 	<p>要確認のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在も、ヘルパー間のノートの共有で、情報共有を図っている。 ・本人からの要望にはおうじられず、どうしてよいか分からない。 																				
<p>12</p>	<p>3. 演習 I</p>	<p>ナレーション例</p> <p>それではここから演習 I に入ります。</p>																				
<p>13</p>	<p>課題解決に向けたアセスメント</p> <p>本人の希望に基づいて、一人暮らしを始めたTRさんですが、1ヶ月ほどで、訪問するヘルパーへの好き嫌いを口にするようになり、ケア中に苛立った様子を見せるようになってきました。</p> <p>ヘルパー事業所でも対応に困っており、この状況が続くとケアの継続は難しくなるかもしれないとのことです。</p> <p>支援チームのリーダー格であるあなたは、何とかしたいと思っていますが、</p> <p>(1) 課題解決に向けて、どんな情報が必要ですか？ (2) それはどのような見立て（仮説・想像）によるものですか？</p>	<p>ナレーション例</p> <p>本人の希望に基づいて、一人暮らしを始めた TR さんですが、1 ヶ月ほどで、訪問するヘルパーへの好き嫌いを口にするようになり、ケア中に苛立った様子を見せるようになってきました。ヘルパー事業所でも対応に困っており、この状況が続くとケアの継続は難しくなるかもしれないとのことです。支援チームのリーダー格であるあなたは、何とかしたいと思っていますが、1 つ目の設問として、「課題解決に向けて、どんな情報が必要ですか?」、2 つ目が「それはどのような見立て（仮説・想像）によるものですか?」です。それぞれワークシート①にまず個人ワークとして記載していただき、その後、グループ共有をしてもらいます。</p> <p>スライド 13-15 説明 5 分</p>																				

<p>14</p>	<p>個人ワーク10分 グループ共有15分</p>	<p>ナレーション例 個人ワークは 10 分、グループ共有は 15 分をお願いします。</p>																				
<p>15</p>	<p>ワークシート①</p> <p>(1) 課題解決に向けて、どんな情報が必要ですか？</p> <p>(2) それはどのような見立て（仮説・想像）によるものですか？</p>	<p>ナレーション例 （１）は課題解決に向けて何が知りたいか、（２）についてはその情報を「知りたい」「必要だ」と思った根拠となる考えを挙げていただければと思います。例えば、（１）で「本人と妹との関係が知りたい」と挙げた場合、「妹がキーマンとなり得る」といった支援者としての見通し・仮説が（２）に当たります。このようなモデル事例を用いた研修では、受講者の皆さんは TR さん本人に実際に会うことはできませんし、得られる情報も限られたものになります。そんな中での演習ですので、回答・記載の「当たりはずれ」ではなく、視点や思考のプロセスを大切にいただければ結構です。それでは、個人ワークからお願いします。</p>																				
<p>16</p>	<p>追加情報①</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>主な情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活基盤</td> <td>収入：基礎年金2級+パート給与（11万円ほど）</td> </tr> <tr> <td>健康・身体</td> <td>服薬は包装をとっておき、翌日捨てる。</td> </tr> <tr> <td>日常生活</td> <td>ADLは自立、IADLは一部支援（記憶障害・実行障害の影響）</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション</td> <td>他者の意思理解が難しいことがある。</td> </tr> <tr> <td>社会生活</td> <td>対人関係：思っようにならずに自立、好き嫌いが顕著。同世代をライバル視。屋外移動：慣れない場所への移動や移動先での行動に不安。金銭管理：通帳管理やATM使用に支援が必要。</td> </tr> <tr> <td>余暇・趣味</td> <td>交友関係はほとんどない。スマホで音楽を聴く。</td> </tr> <tr> <td>教育・就労</td> <td>情報の視覚化が必要。職場環境の変化が情緒に直結する。第1回の面接で安定している。プラス評価が不可欠（失敗を極度に嫌う）。</td> </tr> <tr> <td>家族関係</td> <td>自分で判断ができず、家族を頼りがち。</td> </tr> <tr> <td>障害特性</td> <td>記憶力低下（繰り返しにより改善が期待できる） 情報処理速度低下</td> </tr> </tbody> </table>	領域	主な情報	生活基盤	収入：基礎年金2級+パート給与（11万円ほど）	健康・身体	服薬は包装をとっておき、翌日捨てる。	日常生活	ADLは自立、IADLは一部支援（記憶障害・実行障害の影響）	コミュニケーション	他者の意思理解が難しいことがある。	社会生活	対人関係：思っようにならずに自立、好き嫌いが顕著。同世代をライバル視。屋外移動：慣れない場所への移動や移動先での行動に不安。金銭管理：通帳管理やATM使用に支援が必要。	余暇・趣味	交友関係はほとんどない。スマホで音楽を聴く。	教育・就労	情報の視覚化が必要。職場環境の変化が情緒に直結する。第1回の面接で安定している。プラス評価が不可欠（失敗を極度に嫌う）。	家族関係	自分で判断ができず、家族を頼りがち。	障害特性	記憶力低下（繰り返しにより改善が期待できる） 情報処理速度低下	<p>ナレーション例 こちらからの追加情報を提供します。設問（１）に対して書き出していただいた内容と照らし合わせてみて下さい。また、設問（２）の記載例もお示ししますのでご確認ください。（各自 7 分）</p> <p>演習 I 後にスライド 16-18 を配布。</p> <p>読み込み各自 7 分→説明 8 分</p> <p>要確認のポイント 青字部分</p>
領域	主な情報																					
生活基盤	収入：基礎年金2級+パート給与（11万円ほど）																					
健康・身体	服薬は包装をとっておき、翌日捨てる。																					
日常生活	ADLは自立、IADLは一部支援（記憶障害・実行障害の影響）																					
コミュニケーション	他者の意思理解が難しいことがある。																					
社会生活	対人関係：思っようにならずに自立、好き嫌いが顕著。同世代をライバル視。屋外移動：慣れない場所への移動や移動先での行動に不安。金銭管理：通帳管理やATM使用に支援が必要。																					
余暇・趣味	交友関係はほとんどない。スマホで音楽を聴く。																					
教育・就労	情報の視覚化が必要。職場環境の変化が情緒に直結する。第1回の面接で安定している。プラス評価が不可欠（失敗を極度に嫌う）。																					
家族関係	自分で判断ができず、家族を頼りがち。																					
障害特性	記憶力低下（繰り返しにより改善が期待できる） 情報処理速度低下																					

<p>17</p>	<p>追加情報②</p> <p>TRさん自身は…</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘルパーによって言うことややるが違うから困る、頭が混乱する、イライラしてくる。 インターフォンを鳴らした後、挨拶だけの人、事業所名と名前を告げる人、名前だけ言う人がいる。 買い物と一緒に出かけても、私がメモを忘れてきて無駄になったことがあった。メモがあっても、どの店で買えばよいかわからないこともあった。買い物メモを作るときも手伝って欲しい。 一緒に調理をするときなど、いろいろなことを言う人がいる。 自宅の警備システムをセットし忘れたこともある。 	<p>要確認のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> Rさん自身は、ヘルパーによって対応が異なることや、メモや警備システムを忘れてしまったときの対応に不満がある様子。 メモの作成自体や調理の際の対応も引っかかっている。 不満中身も、それを上手く伝えることができていないことも問題か。
<p>18</p>	<p>見立て (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘルパー間の情報共有が不十分で、ケアに統一性がなく、本人を混乱させているのではないか。 いくつもの用件を、配慮なく、本人に口頭で伝えて済ませてしまい、理解できないままになっているのではないか。 ケア内容やヘルパーの人選に、本人の意向が反映されていないのではないか。 できたことを評価する場が必要なのではないか。 必要な相談相手が身近にいないのではないか。 	<p>要確認のポイント</p> <p>あくまで例示であり、グループ共有の中で、(1)と(2)が関連づけられていればよい。</p>
<p>19</p>	<p style="text-align: center;">4. 演習 II</p>	<p>ナレーション例</p> <p>それでは、演習 II に入ります。</p>
<p>20</p>	<p>課題解決に向けた支援の見直し</p> <p>これまでの情報や「見立て」を踏まえ、どのように支援の見直しを図りますか？必要な取組を挙げて下さい。</p>	<p>ナレーション例</p> <p>これまでの情報や「見立て」を踏まえ、どのように支援の見直しを図りますか？必要な取組を挙げて下さい。</p> <p>スライド 20-22 演習内容を説明 5分</p>
<p>21</p>	<p style="text-align: center;">個人ワーク15分 グループ共有30分</p>	<p>ナレーション例</p> <p>個人ワークは 15 分、グループ共有は 30 分をお願いします。</p>

<p>22</p>	<p>ワークシート②</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>解決すべき課題</th> <th>取り組むべきこと</th> <th>留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1.</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2.</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3.</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4.</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5.</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	解決すべき課題	取り組むべきこと	留意点	1.			2.			3.			4.			5.			<p>ナレーション例</p> <p>「解決すべき課題」欄には困り事・ニーズを、「取り組むべきこと」欄にはその解決のためのアイデアを、「留意点」にはアイデアを実施する上での注意事項を記載して下さい。</p>
解決すべき課題	取り組むべきこと	留意点																		
1.																				
2.																				
3.																				
4.																				
5.																				
<p>23</p>	<p>ワークシート② (記載例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>解決すべき課題</th> <th>取り組むべきこと</th> <th>留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.ヘルパーのケアの統一</td> <td>ヘルパーの支援手順書を作成し、訪問時ケアの提供に活用できるポイントを確認する。</td> <td>本人の負担が増えないように、必要な情報は統一する。</td> </tr> <tr> <td>2.やることを忘れてしまう</td> <td>忘れやすいことをメモする、手紙につく場所に貼る。</td> <td>本人と話し合ってみる。</td> </tr> <tr> <td>3.好き嫌いが多い</td> <td>同じ日のヘルパーを派ける。専任担当で、得意料理についての学習会を行う。</td> <td>支援手順書に促ってケアに入ることができるヘルパーを確保することも必要。</td> </tr> <tr> <td>4.できたことを評価する機会があまりない</td> <td>本人と、できたことを確認する機会を定期的に設ける。</td> <td>本人と振り返ることができるよう記録をする。</td> </tr> <tr> <td>5.家族以外に相談できる相手がない</td> <td>半日間の相談相手を見つけるために、隣家の定期相談を参考にする。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	解決すべき課題	取り組むべきこと	留意点	1.ヘルパーのケアの統一	ヘルパーの支援手順書を作成し、訪問時ケアの提供に活用できるポイントを確認する。	本人の負担が増えないように、必要な情報は統一する。	2.やることを忘れてしまう	忘れやすいことをメモする、手紙につく場所に貼る。	本人と話し合ってみる。	3.好き嫌いが多い	同じ日のヘルパーを派ける。専任担当で、得意料理についての学習会を行う。	支援手順書に促ってケアに入ることができるヘルパーを確保することも必要。	4.できたことを評価する機会があまりない	本人と、できたことを確認する機会を定期的に設ける。	本人と振り返ることができるよう記録をする。	5.家族以外に相談できる相手がない	半日間の相談相手を見つけるために、隣家の定期相談を参考にする。		<p>ナレーション例</p> <p>ワークシート②の記載例になります。(説明後) «クリック»支援手順書と«クリック»記録については、演習Ⅲで取り組みます。</p> <p>演習Ⅱ後に配布し説明 10分</p>
解決すべき課題	取り組むべきこと	留意点																		
1.ヘルパーのケアの統一	ヘルパーの支援手順書を作成し、訪問時ケアの提供に活用できるポイントを確認する。	本人の負担が増えないように、必要な情報は統一する。																		
2.やることを忘れてしまう	忘れやすいことをメモする、手紙につく場所に貼る。	本人と話し合ってみる。																		
3.好き嫌いが多い	同じ日のヘルパーを派ける。専任担当で、得意料理についての学習会を行う。	支援手順書に促ってケアに入ることができるヘルパーを確保することも必要。																		
4.できたことを評価する機会があまりない	本人と、できたことを確認する機会を定期的に設ける。	本人と振り返ることができるよう記録をする。																		
5.家族以外に相談できる相手がない	半日間の相談相手を見つけるために、隣家の定期相談を参考にする。																			
<p>24</p>	<p>5. 演習Ⅲ</p>	<p>ナレーション例</p> <p>それでは演習Ⅲです。</p>																		
<p>25</p>	<p>支援手順書の作成と記録の活用</p> <p>TRさん</p> <p>「買い物と一緒に出かけても、私がメモを忘れてきて無駄になったことがあった。メモがあっても、どの店で買えばよいか分からないこともあった。買い物メモを作るときも手伝って欲しい。」</p> <p>「買い物をするときにメモを見忘れたり、メモを見ても買い忘れたりすることがある。」</p> <p>(1)どのようなことをヘルパー間で共有しておけば、改善できるでしょうか？</p>	<p>ナレーション例</p> <p>TRさんからは、「買い物と一緒に出かけても、私がメモを忘れてきて無駄になったことがあった。メモがあっても、どの店で買えばよいか分からないこともあった。買い物メモを作るときも手伝って欲しい。」「買い物をするときにメモを見忘れたり、メモを見ても買い忘れたりすることがある。」という訴えもお聞きしているところですが、設問(1)はどのようなことをヘルパー間で共有しておけば、改善できるでしょうか？です。</p> <p>スライド 25-27 説明 5分</p>																		

26	<p style="text-align: center;">個人ワーク10分</p>	<p>ナレーション例 これは10分の個人ワークのみとなります。</p>												
27	<p>ワークシート③ (1)</p> <table border="1" data-bbox="363 600 762 745"> <thead> <tr> <th>サービス内容</th> <th>手順・留意事項・観察ポイント</th> <th>本人の役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>買い物準備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>買い物支援 (移動支援)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)</p> <p>振り返りの留意点</p>	サービス内容	手順・留意事項・観察ポイント	本人の役割	買い物準備			買い物支援 (移動支援)			<p>ナレーション例 設問(1)について、TRさんが訴えている「買い物準備」「買い物支援(移動支援)」のあり方について、受講者個々で書き出してみてください。</p>			
サービス内容	手順・留意事項・観察ポイント	本人の役割												
買い物準備														
買い物支援 (移動支援)														
28	<p>ワークシート③(記載例)</p> <table border="1" data-bbox="339 902 794 1032"> <thead> <tr> <th>サービス内容</th> <th>手順・留意事項・観察ポイント</th> <th>本人の役割</th> <th>記録</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>買い物準備</td> <td>1) 冷蔵庫内の食材や調味料、その他の必要品を確認して、買い物メモを作成する。 2) 購入する店舗ごとに書き出す。</td> <td>ヘルパーと一緒に買う物を決めて、行く店ごとにメモに書き出す。メモを財布に入れる。</td> <td>メモを財布に入れるのに、声かけが必要でした。</td> </tr> <tr> <td>買い物支援 (移動支援)</td> <td>1) 本人が商品を選ぶ・支払いをするのを助ける。 2) 支払いの前に、買い忘れがないか確認する。</td> <td>メモを見ながら、買い物をする。レジになった時に、買い忘れがないか確認する。</td> <td>メモを出さずに買い物始めたので、声かけしました。</td> </tr> </tbody> </table> <p>振り返りの留意点</p>	サービス内容	手順・留意事項・観察ポイント	本人の役割	記録	買い物準備	1) 冷蔵庫内の食材や調味料、その他の必要品を確認して、買い物メモを作成する。 2) 購入する店舗ごとに書き出す。	ヘルパーと一緒に買う物を決めて、行く店ごとにメモに書き出す。メモを財布に入れる。	メモを財布に入れるのに、声かけが必要でした。	買い物支援 (移動支援)	1) 本人が商品を選ぶ・支払いをするのを助ける。 2) 支払いの前に、買い忘れがないか確認する。	メモを見ながら、買い物をする。レジになった時に、買い忘れがないか確認する。	メモを出さずに買い物始めたので、声かけしました。	<p>演習Ⅲ(1)後にスライド28,29を映写→記載内容を、記録にも触れながら説明5分</p> <p>(2)実施後に記載例を配布することを伝える</p>
サービス内容	手順・留意事項・観察ポイント	本人の役割	記録											
買い物準備	1) 冷蔵庫内の食材や調味料、その他の必要品を確認して、買い物メモを作成する。 2) 購入する店舗ごとに書き出す。	ヘルパーと一緒に買う物を決めて、行く店ごとにメモに書き出す。メモを財布に入れる。	メモを財布に入れるのに、声かけが必要でした。											
買い物支援 (移動支援)	1) 本人が商品を選ぶ・支払いをするのを助ける。 2) 支払いの前に、買い忘れがないか確認する。	メモを見ながら、買い物をする。レジになった時に、買い忘れがないか確認する。	メモを出さずに買い物始めたので、声かけしました。											
30	<p style="text-align: center;">支援手順書の作成と記録の活用</p> <p>(2)記録を踏まえて本人と振り返る際の留意点を挙げましょう</p>	<p>ナレーション例 設問(2)に移ります。記録を踏まえて本人と振り返る機会をもつ際の留意点を挙げましょう 2分</p>												
31	<p>ワークシート③ (1)</p> <table border="1" data-bbox="363 1489 762 1635"> <thead> <tr> <th>サービス内容</th> <th>手順・留意事項・観察ポイント</th> <th>本人の役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>買い物準備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>買い物支援 (移動支援)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">個人ワーク5分 グループ共有5分</p> <p>(2)</p> <p>振り返りの留意点</p>	サービス内容	手順・留意事項・観察ポイント	本人の役割	買い物準備			買い物支援 (移動支援)			<p>ナレーション例 各自5分で書き出し、5分でグループ共有して下さい。</p>			
サービス内容	手順・留意事項・観察ポイント	本人の役割												
買い物準備														
買い物支援 (移動支援)														

ワークシート③（記載例）

サービス内容	手順・留意事項・観察ポイント	本人の役割	記録
買い物準備	1) 冷蔵庫内の食材や調味料、その他の必需品を確認して、買い物メモを作成する。 2) 購入する店舗ごとに書き出す。	ヘルパーと一緒に買う物を決め、行く店ごとにメモに書き出す。メモを財布に入れる。	メモを財布に入れるのに、声かけが必要でした。
買い物支援 （移動支援）	1) 本人が商品を運ぶ・支払いをするのを促す。 2) 支払いの前に、買い忘れがないか確認する。	メモを見ながら、買い物をする。レジに近づくと、買い忘れがないか確認する。	メモを出さずに買い物始めたので、声かけしました。

振り返りの留意点

- ・その日のうちに、課題を確認しておく。
- ・否定的な表現は避け、次回に向けた励ましを心がける。
- ・一定期間内の振り返りにより、必要に応じて本人と支援方法を見直す。

記載例の配布確認 3分

